

議会運営委員会日程

令和5年6月28日（水）

午前9時15分 502会議室

日程第1 追加議案について

- (1) 議案第117号 川崎市監査委員の選任について

日程第2 動議について

- (1) 「議案第112号 令和5年度川崎市一般会計補正予算」の組替えを求める動議

日程第3 意見書案について

- (1) 意見書案第6号 特別支援学校や特別支援学級等への教職員等の適切な配置を求める意見書
- (2) 意見書案第7号 選択的夫婦別姓制度の早期実現を求める意見書
- (3) 意見書案第8号 改正出入国管理及び難民認定法の廃止を求める意見書
- (4) 意見書案第9号 日本政府に核兵器禁止条約の署名、批准等を求める意見書
- (5) 意見書案第10号 L G B T Qをはじめとした性的少数者の差別解消と誰もが生きやすい環境の整備を進めていくよう求める意見書

日程第4 6月29日（木）の本会議の運営について

【別紙「6月29日（木）の本会議の議事要領」による】

日程第5 一般質問について

日程第6 その他

「議案第112号 令和5年度川崎市一般会計補正予算」の組替えを求め
る動議の提出について

上記の動議を別紙のとおり、川崎市議会会議規則第15条の規定により提出い
たします。

令和5年6月28日

川崎市議会議長 青木功雄様

提出者 川崎市議会議員 月本琢也

〃 吉沢章子

〃 重富達也

「議案第112号 令和5年度川崎市一般会計補正予算」の組替えを求める動議

「議案第112号 令和5年度川崎市一般会計補正予算」について、市長は別紙要領により速やかに組替えをなし、再提出することを要求する。

(別 紙)

1 組替えを求める理由

本補正予算案に計上されている太陽光発電設備導入支援事業費については、事業者に対して、太陽光パネルメーカー等と連携し、太陽光発電設備に関する知識や技術の習得の支援を目的としているものである。

令和5年3月の川崎市地球温暖化対策推進条例の改正に伴い、一定の条件に該当する新築建築物等に太陽光発電設備等の設置が義務化されたため、今後、太陽光発電設備の設置に向けた需要は更に高まることが予想される。

現在、本市の中小企業支援事業のうち、研修や資格取得に対する支援をしている例は限定的であり、需要のある分野に参入する事業者への資格取得支援の例はなく、事業費に対する効果の検証も困難である。

また、今後の新技術の進展に鑑みると、習得した知識や技術が同条例の施行される令和7年度において必ずしも有効・必要なものであるとは考え難いことから同事業を推進する必要性は乏しいと考える。

他方、本年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症について、感染症法上の位置付けが5類感染症に変更されたことで、インバウンド需要は急速に高まっており、東京国際空港（羽田空港）に近いという本市の立地特性からしても、長引くコロナ禍で疲弊した地域経済を活性化するためには、これらの需要を取り込むことが極めて重要である。

外国人旅行者が電車、バスなどの公共交通機関を利用した際に最初に到着することの多い主要駅が本市の玄関口として第一印象となる可能性が高く、本市に抱くイメージの形成に大きな影響を与えることになるが、その際、主要駅周辺の指定喫煙場所については、現状、開放型となっていることから、喫煙場所周辺でも喫煙するケースが見受けられ、周辺に多数の吸い殻が捨てられている状況は、本市へのイメージを著しく悪化させるものである。

このため、有効なインバウンド対策事業として、密閉型喫煙所を整備することで、指定喫煙場所及びその周辺の美観向上を図り、本市へのイメージを向上させるため、1,110万円の太陽光発電設備導入支援事業費を見直すとともに、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の一部を活用することで、必要な措置を速やかに進めていくべきと考える。

以上のことから、私たちは、次の組替えの内容により議案第112号 令和5年度川崎市一般会計補正予算の再提出を求めるものである。

2 組替えの内容

太陽光発電設備導入支援事業費の見直し、新型コロナウイルス感染症対応地

方創生臨時交付金の活用により、約3億5千万円を確保し、次の「(2)歳出予算の組替え」に掲げた施策を実施する。

(1) 歳入予算の組替え

太陽光発電設備導入支援事業の事務の見直し（事業費1千110万円）

(2) 歳出予算の組替え

市内指定喫煙場所の密閉型喫煙所化

意見書案第 6 号

特別支援学校や特別支援学級等への教職員等の適切な配置を求める意見書案の提出について

上記の意見書案を別紙のとおり、川崎市議会会議規則第 13 条の規定により提出いたします。

令和 5 年 6 月 26 日

川崎市議会議長 青木 功雄 様

提出者 川崎市議会議員 原 典之

” 堀 添 健

” 浜 田 昌 利

” 宗 田 裕 之

” 三 宅 隆 介

特別支援学校や特別支援学級等への教職員等の適切な配置を求める意見書

文部科学省の令和4年度学校基本調査によると、過去10年間で特別支援学校については、学校数が約100校、児童生徒数は約2万人、特別支援学級については、学級数が約3万学級、児童生徒数は約19万人それぞれ増加するなど、特別支援教育に関連する施設と児童生徒数は年々増加しており、新たな特別支援教育体制の整備が必要になっている。

本市においても、医療の進歩や特別支援教育への理解の広がり、障がいの概念の変化や多様化など、特別支援教育をめぐる社会や環境の変化に伴い、特別支援教育を必要とする子どもの数は増加を続けており、このような状況に適切に対処するためには、特別支援学校や特別支援学級等への専門的な知識や経験を持った教職員等を増員することは必要不可欠である。

また、共生社会の形成に向けて、障害者の権利に関する条約に基づく、子どもの多様性を尊重するインクルーシブ教育システムの構築が求められており、そのためにも我が国の特別支援教育の更なる拡充が必要である。

よって、国におかれては、医療的ケアを含めた特別支援教育が必要な児童生徒の増加や、障がいの特性に応じた的確な教育を実現するために、特別支援学校や特別支援学級等への教職員等の適切な配置に向けて、次の事項について財政措置を含めた特段の措置を講ぜられるよう強く要望するものである。

- 1 障がいのある児童生徒に対して、学校における各種日常生活動作の介助や学習活動上のサポート等を行う特別支援教育支援員を始めとした必要な支援人材の適切な配置を支援すること。
- 2 特別支援学校における教育の質の向上の観点から、大学等における特別支援教育に関する科目の修得促進等、教職員に対する特別支援学校教諭免許状の取得を支援するとともに、大学での養成教育を受けていない者に、都道府県教育委員会の行う教育職員検定により免許状を授与する特別免許状制度の活用についても強力に推進すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

年 月 日

議会議長名

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣 宛て
財務大臣
文部科学大臣
厚生労働大臣
こども政策担当大臣

意見書案第7号

選択的夫婦別姓制度の早期実現を求める意見書案の提出について

上記の意見書案を別紙のとおり、川崎市議会会議規則第13条の規定により提出いたします。

令和5年6月26日

川崎市議会議長 青木功雄様

提出者	川崎市議会議員	宗田裕之
	〃	井口真美
	〃	渡辺学
	〃	石川建二
	〃	後藤真左美
	〃	小堀祥子
	〃	市古次郎
	〃	齋藤温

選択的夫婦別姓制度の早期実現を求める意見書

平均初婚年齢が30歳前後の現代において、婚姻前に個人名で信用・実績・資産を築く人が増加する中、改姓によってこれまで築き上げたキャリアに分断が生じる例や、法的根拠のない旧姓の使用で不利益や混乱が生じる例は多く、その弊害を避けるため、婚姻を諦める人や事実婚を選択する人が一定数存在している。

我が国が批准する女子差別撤廃条約においても、夫婦に対して姓を選択できる同一の個人的権利を確保することが求められ、同条約に基づき設置された女子差別撤廃委員会からも、再三にわたり夫婦同姓を強制する現行制度を改正するように勧告されている。

最高裁判所は、平成27年12月に続き令和3年6月の判決においても、民法の夫婦同姓規定を合憲と判断した一方、制度の在り方については、国会で論ぜられ、判断されるべき事柄であるとしている。

令和4年7月にインターネットを活用して20歳～59歳の働く男女を対象に実施した民間調査結果において、選択的夫婦別姓制度の導入を容認する回答の割合は64.0%になり、中でも女性では70.2%に上っている。

また、地方議会からの国に対する同制度の導入や審議を求める意見書もさらに増加しており、民間調査結果によると、本年3月28日時点で362件に上っており、夫婦別姓を選択する自由を求める声が全国的に広がっていることは明らかである。

よって、国におかれては、家族の在り方が多様化する昨今、婚姻前の姓を選択できないことが婚姻の支障になっている現状を一刻も早く解消するため、選択的夫婦別姓制度を早期に実現されるよう強く要望するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

年 月 日

議会議長名

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

宛て

総務大臣

法務大臣

男女共同参画担当大臣

意見書案第 8 号

改正出入国管理及び難民認定法の廃止を求める意見書案の提出について

上記の意見書案を別紙のとおり、川崎市議会会議規則第 13 条の規定により提出いたします。

令和 5 年 6 月 26 日

川崎市議会議長 青木 功雄 様

提出者	川崎市議会議員	宗田 裕之
	〃	井口 真美
	〃	渡辺 学
	〃	石川 建二
	〃	後藤 真左美
	〃	小堀 祥子
	〃	市古 次郎
	〃	齋藤 温

改正出入国管理及び難民認定法の廃止を求める意見書

政府は、令和3年の通常国会で廃案になった改正出入国管理及び難民認定法について、3か月ごとに必要的に收容の要否を見直す旨の規定を創設し、監理措置制度における監理人の定期報告義務を削除するなど、一部修正を加え、本年3月7日に新たな改正出入国管理及び難民認定法（以下「改正入管法」という。）を提出、参議院本会議で本年6月9日、賛成多数で可決成立させた。

しかし、收容の要否の見直し規定については、收容の要否を裁判所等の第三者に審査させるものではなく、当事者たる所轄庁が自ら検討し、判断するものとなっていることに加え、定期報告義務の削除についても、主任審査官が求めた場合には監理人に報告義務が別途課されるものであることから、いずれの修正も不十分であると言わざるを得ない。

また、退去強制対象者の收容期間に上限が存在しないことから、自ら出国の意思を示さない限り收容が継続されてしまうため、これに起因して平成19年以降で少なくとも18人が收容中に亡くなっており、令和3年3月には、名古屋出入国在留管理局の收容施設で起きたスリランカ人の死亡事件が大きく報道されたところである。

そもそも、令和3年における我が国の難民認定数は74人、認定率は0.7%であり、比較的難民認定に厳しいとされるフランスでも同年の難民認定数は32,571人、認定率は17.5%となっているなど、諸外国と比較して著しく低くなっている。

難民認定については、難民該当性判断の手引を踏まえて適正に判断するとあるが、難民審査は申請者に詳細な主張・立証を求め、民主化運動のリーダー格でなければ迫害されるおそれを認めないなど、極めて限定的な基準になっており、難民等の要保護性を判断する難民審査と、不正調査や收容・送還を主な業務とする入国審査を同じ組織の下で行うことは構造的な矛盾にほかならず、事実上の強制送還ありきとなっている改正入管法は、外国人の人権侵害を拡大するものであり、国際人権法にも違反していると言わざるを得ない。

さらに、政府が改正の根拠としていた、令和3年4月の衆議院法務委員会における、申請者に難民がほとんどいないという趣旨の柳瀬房子難民審査参与員の発言については、同氏に審査件数の約25%が集中し、審査の正当性自体に疑義が生じるなど、根拠が曖昧なまま強行して成立した改正入管法をめぐって、様々な問題点が浮き彫りになっている。

よって、国におかれては、改正入管法を即時廃止するよう強く要望するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

年 月 日

議会議長名

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣 宛て
総務大臣
法務大臣

意見書案第9号

日本政府に核兵器禁止条約の署名、批准等を求める意見書案の提出について

上記の意見書案を別紙のとおり、川崎市議会会議規則第13条の規定により提出いたします。

令和5年6月26日

川崎市議会議長 青木功雄様

提出者	川崎市議会議員	宗田裕之
	〃	井口真美
	〃	渡辺学
	〃	石川建二
	〃	後藤真左美
	〃	小堀祥子
	〃	市古次郎
	〃	齋藤温

日本政府に核兵器禁止条約の署名、批准等を求める意見書

広島と長崎に米国の原子爆弾が投下されてから72年を経た平成29年7月7日、国連総会において核兵器禁止条約が採択され、同年9月から同条約への署名、批准が始まり、批准国が50か国を超えたことにより、令和3年1月22日に発効した。

同条約は、核兵器の使用は、破滅的で非人道的な結末をもたらすものであり、国連憲章、国際人道法及び国際人権法のいずれにも反するものとし、歴史上初めて条約において核兵器が違法なものであると明文化している。

また、開発、実験、生産、製造、取得、占有、貯蔵、使用及び使用の威嚇に至るまで、核兵器に関わるあらゆる活動を禁止するとともに、被爆者や核実験被害者への援助を行う責任も明記されていることから、被爆者、核実験被害者及び日本国民が長年にわたり熱望してきた核兵器の完全廃絶につながる画期的な内容となっている。

昨年7月にはウィーンで同条約の第1回締約国会議が開かれ、本年1月現在、署名国は92か国、批准国は68か国に上り、国際政治において核兵器廃絶に向けた前向きな動きが見られている。

国内においても、同条約への署名、批准等を求める意見書を採択した地方議会は、本年4月時点で全国652団体に広がり、全体のおよそ36%に達している。

こうした中、ロシアのプーチン大統領は、ウクライナへの軍事侵略に合わせて行った演説において、ロシアは世界最大の核兵器保有国の一つであり、ロシアに対する直接攻撃は壊滅と悲惨な結果をもたらすと、核兵器の使用を示唆した上で、今なお侵略を続けているが、こうした行為は、核兵器の使用の威嚇を禁じた同条約に明確に違反するものである。

世界が核戦争の危機に直面している今こそ、広島、長崎の原爆被害を体験した日本の政府は、核兵器の使用を全面的に禁止させる取組の先頭に立つ必要がある。

また、本市は昭和57年に核兵器廃絶平和都市宣言を表明しており、核兵器禁止条約に署名、批准することは、多くの市民の願いでもある。

よって、国におかれては、核兵器廃絶に向け、唯一の戦争被爆国として同条約締約国会議へのオブザーバー参加を早急に検討するとともに、同条約に署名、批准することを強く要望するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

年 月 日

議会議長名

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣 宛て
総務大臣
外務大臣
防衛大臣

意見書案第10号

LGBTQをはじめとした性的少数者の差別解消と誰もが生きやすい環境の整備を進めていくよう求める意見書案の提出について

上記の意見書案を別紙のとおり、川崎市議会会議規則第13条の規定により提出いたします。

令和5年6月26日

川崎市議会議長 青木功雄 様

提出者	川崎市議会議員	宗田裕之
	〃	井口真美
	〃	渡辺学
	〃	石川建二
	〃	後藤真左美
	〃	小堀祥子
	〃	市古次郎
	〃	齋藤温

LGBTQをはじめとした性的少数者の差別解消と誰もが生きやすい環境の整備を進めていくよう求める意見書

日本は、主要7か国で唯一、同性婚が認められず、LGBTQをはじめとした性的少数者の差別禁止を明記した法律も制定されていない。

NPO法人の調査によると、10代当事者の48%が自殺を考え、14%が自殺未遂、38%が自傷行為に及んだことがあると回答、当事者の苦難は深刻な状況にある。

令和3年、超党派の議員連盟により、性的少数者への差別禁止や理解を促進するための法案整備に向けた協議が行われ、法の目的や基本理念に「性的指向や性自認を理由とした差別は許されない」との文言を盛り込んだ法案が与野党で合意に至ったものの、差別は許されないという文言に対して懸念を示す意見もあり、法案提出はなされなかった。

地方議会では、法整備を求める意見書が本年1月以降26団体で採択され、2月には同性婚をめぐる不適切発言で首相秘書官が更迭され、改めて法整備を求める声が強まり、3月の民間世論調査でも、今国会で同法を成立させるべきとの回答が過半数を超えた。

このような状況の中、先月開催されたG7広島サミットでは、性的少数者の権利保護を明記した共同声明が発表され、議長国を務めた日本の姿勢も問われることとなったが、今国会で成立した性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律では、基本理念は「差別は許されない」から「不当な差別はあってはならない」に、「性自認」の表記は「ジェンダーアイデンティティ」へと表現が後退した。

また、「全ての国民が安心して生活できることとなるよう、留意する」、という条文を付し、多数派が認める範囲内に性的少数者の人権・尊厳を制限しかねないものとなり、性的少数者の理解増進に逆行するものと言わざるを得ない。

本市では、何人も、性的指向、性自認その他の事由を理由とする不当な差別的取扱いをしてはならないと規定する差別のない人権尊重のまちづくり条例を制定しており、差別と偏見に苦しむ人をこれ以上看過することはできない。

よって、国におかれては、性的少数者の人権尊重及び差別解消のため、同法に差別の禁止について明確に規定するとともに、誰もが生きやすい環境の整備を進めていくよう強く要望するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

年 月 日

議会議長名

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣 宛て
総務大臣
法務大臣
共生社会担当大臣

6月29日（木）の本会議の議事要領

1

日程第1	一般議案	30件	} 一括上程
日程第2	諮問	1件	
日程第3	報告	12件	
日程第4	請願	1件	

(1) 委員長報告（日程第1、第2、第4の各案件）

総務、文教、健康福祉、まちづくり、環境委員長の順

～ 委員長報告に対する質疑 ～

(2) 「議案第112号 令和5年度川崎市一般会計補正予算」の組替えを求める動議

[提案説明、自席質疑]

(3) 討論（日程第1、第2、第4の各案件、補正予算の組替えを求める動議）

[日程第3の報告に対するご意見などがあれば、併せてお願いします。発言は、今議会の発言順]

(4) 採決

① 「議案第112号 令和5年度川崎市一般会計補正予算」の組替えを求める動議を起立により採決

② 日程第1の議案30件中、次の議案6件を除いた24件を起立により一括採決

議案第84号 川崎市市税条例の一部を改正する条例の制定について

議案第85号 川崎市市税事務所条例の一部を改正する条例の制定について

議案第87号 川崎市地方卸売市場業務条例の一部を改正する条例の制定について

議案第88号 川崎市成人ぜん息患者医療費助成条例を廃止する条例の制定について

議案第94号 川崎市小児ぜん息患者医療費支給条例を廃止する条例の制定について

議案第112号 令和5年度川崎市一般会計補正予算

③ 除いた議案6件中、議案第84号、第85号及び第87号の3件を起立により一括採決

④ 除いた議案88号及び第94号の2件を起立により一括採決

⑤ 除いた議案第112号を起立により採決

⑥ 日程第2の諮問1件を起立により採決

⑦ 日程第4の請願1件を起立により採決

請願第1号 成人ぜん息患者医療費助成条例、小児ぜん息患者医療費支給条例の廃止に反対し、維持・拡充を求める事に関する請願

2

日程第5

議案第117号 川崎市監査委員の選任について

[上程、提案説明、自席質疑（ご意見等も含む。）の後、直ちに起立により採決]

3

日程第6

意見書案第6号 特別支援学校や特別支援学級等への教職員等の適切な配置を求める意見書

[上程、書記朗読等を省略し、直ちに起立により採決]

意見書案第7号 選択的夫婦別姓制度の早期実現を求める意見書

[上程、提案説明、自席質疑（討論）の後、直ちに起立により採決]

意見書案第 8号 改正出入国管理及び難民認定法の廃止を求める意見書
〔上程、提案説明、自席質疑（討論）の後、直ちに起立により採決〕

意見書案第 9号 日本政府に核兵器禁止条約の署名、批准等を求める意見書
〔上程、提案説明、自席質疑（討論）の後、直ちに起立により採決〕

意見書案第 10号 L G B T Qをはじめとした性的少数者の差別解消と誰もが生きやすい環境の整備を進めていくよう求める意見書
〔上程、提案説明、自席質疑（討論）の後、直ちに起立により採決〕

令和5年第3回川崎市議会定例会
議事日程第5号

令和5年6月29日(木)
午前10時開議

第1

- 議案第84号 川崎市市税条例の一部を改正する条例の制定について
議案第85号 川崎市市税事務所条例の一部を改正する条例の制定について
議案第86号 川崎市市民ミュージアム条例の一部を改正する条例の制定について
議案第87号 川崎市地方卸売市場業務条例の一部を改正する条例の制定について
議案第88号 川崎市成人ぜん息患者医療費助成条例を廃止する条例の制定について
議案第89号 川崎市指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第90号 川崎市指定障害児入所施設等の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第91号 川崎市児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第92号 川崎市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第93号 川崎市指定障害者支援施設の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第94号 川崎市小児ぜん息患者医療費支給条例を廃止する条例の制定について
議案第95号 川崎市児童相談所条例の一部を改正する条例の制定について
議案第96号 川崎市保育・子育て総合支援センター条例の一部を改正する条例の制定について
議案第97号 川崎市認定こども園の認定の要件を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第98号 川崎市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第99号 川崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第100号 川崎市地区計画の区域内における建築物等の形態意匠の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第101号 川崎市地区計画の区域内における建築物に係る制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第102号 川崎市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
議案第103号 川崎市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
議案第104号 川崎市新本庁舎のコミュニケーションエリア什器の取得について
議案第105号 川崎市役所第2庁舎解体撤去・広場等整備工事請負契約の締結について
議案第107号 東扇島コンテナ関連施設整備工事請負契約の変更について
議案第108号 川崎市消費者行政推進委員会委員の選任について
議案第109号 川崎市農業委員会委員の選任について
議案第110号 市道路線の認定及び廃止について
議案第112号 令和5年度川崎市一般会計補正予算
議案第113号 令和5年度川崎市競輪事業特別会計補正予算
議案第114号 令和5年度川崎市港湾整備事業特別会計補正予算
議案第115号 令和5年度川崎市病院事業会計補正予算

第2

- 諮問第1号 生活保護費返還金の督促に関する処分に係る審査請求について

第3

- 報告第2号 令和4年度川崎市一般会計繰越明許費繰越額の報告について

報告第	3号	令和4年度川崎市一般会計事故繰越し繰越額の報告について
報告第	4号	令和4年度川崎市港湾整備事業特別会計繰越明許費繰越額の報告について
報告第	5号	令和4年度川崎市墓地整備事業特別会計繰越明許費繰越額の報告について
報告第	6号	令和4年度川崎市病院事業会計予算繰越額の報告について
報告第	7号	令和4年度川崎市下水道事業会計予算繰越額の報告について
報告第	8号	令和4年度川崎市水道事業会計予算繰越額の報告について
報告第	9号	令和4年度川崎市工業用水道事業会計予算繰越額の報告について
報告第	10号	川崎市情報公開条例第35条の規定による運営状況の報告について
報告第	11号	川崎市個人情報保護条例第41条の規定による運営状況の報告について
報告第	12号	川崎市審議会等の会議の公開に関する条例第11条の規定による運営状況の報告について
報告第	13号	地方自治法第180条の規定による市長の専決処分報告について

第 4

請願第	1号	成人ぜん息患者医療費助成条例、小児ぜん息患者医療費支給条例の廃止に反対し、維持・拡充を求める事に関する請願
-----	----	-------------------------------------------------------

第 5

議案第	117号	川崎市監査委員の選任について
-----	------	----------------

第 6

意見書案第	6号	特別支援学校や特別支援学級等への教職員等の適切な配置を求める意見書
意見書案第	7号	選択的夫婦別姓制度の早期実現を求める意見書
意見書案第	8号	改正出入国管理及び難民認定法の廃止を求める意見書
意見書案第	9号	日本政府に核兵器禁止条約の署名、批准等を求める意見書
意見書案第	10号	LGBTQをはじめとした性的少数者の差別解消と誰もが生きやすい環境の整備を進めていくよう求める意見書

令和5年6月23日

川崎市議会議長
青木功雄様

総務委員長
木庭理香子

総務委員会審査報告書（議案）

本委員会に付託された下記の議案を審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第77条の規定により報告します。

記

- 議案第 84号 川崎市市税条例の一部を改正する条例の制定について
(原案可決)
- 議案第 85号 川崎市市税事務所条例の一部を改正する条例の制定について
(原案可決)
- 議案第 87号 川崎市地方卸売市場業務条例の一部を改正する条例の制定について
(原案可決)
- 議案第104号 川崎市新本庁舎のコミュニケーションエリア什器の取得について
(原案可決)
- 議案第105号 川崎市役所第2庁舎解体撤去・広場等整備工事請負契約の締結について
(原案可決)
- 議案第108号 川崎市消費者行政推進委員会委員の選任について
(同意)
- 議案第109号 川崎市農業委員会委員の選任について
(同意)
- 議案第112号 令和5年度川崎市一般会計補正予算
(原案可決)

議案第 1 1 3 号 令和 5 年度川崎市競輪事業特別会計補正予算

(原案可決)

令和5年6月26日

川崎市議会議長

青木功雄様

文教委員長

押本吉司

文教委員会審査報告書（議案）

本委員会に付託された下記の議案を審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第77条の規定により報告します。

記

議案第86号 川崎市市民ミュージアム条例の一部を改正する条例の制定について
(原案可決)

議案第91号 川崎市児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
(原案可決)

議案第94号 川崎市小児ぜん息患者医療費支給条例を廃止する条例の制定について
(原案可決)

議案第95号 川崎市児童相談所条例の一部を改正する条例の制定について
(原案可決)

議案第96号 川崎市保育・子育て総合支援センター条例の一部を改正する条例の制定について
(原案可決)

議案第97号 川崎市認定こども園の認定の要件を定める条例の一部を改正する条例の制定について
(原案可決)

議案第98号 川崎市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
(原案可決)

議案第99号 川崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について (原案可決)

令和5年6月23日

川崎市議会議長

青木功雄様

健康福祉委員長

各務雅彦

健康福祉委員会審査報告書（議案）

本委員会に付託された下記の議案を審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第77条の規定により報告します。

記

- 議案第 88号 川崎市成人ぜん息患者医療費助成条例を廃止する条例の制定について（原案可決）
- 議案第 89号 川崎市指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例の制定について（原案可決）
- 議案第 90号 川崎市指定障害児入所施設等の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例の制定について（原案可決）
- 議案第 92号 川崎市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例の制定について（原案可決）
- 議案第 93号 川崎市指定障害者支援施設の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例の制定について（原案可決）
- 議案第 103号 川崎市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について（原案可決）
- 議案第 115号 令和5年度川崎市病院事業会計補正予算（原案可決）

令和5年6月23日

川崎市議会議長

青木功雄様

まちづくり委員長

林敏夫

まちづくり委員会審査報告書（議案）

本委員会に付託された下記の議案を審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第77条の規定により報告します。

記

議案第100号 川崎市地区計画の区域内における建築物等の形態意匠の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について（原案可決）

議案第101号 川崎市地区計画の区域内における建築物に係る制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について（原案可決）

議案第102号 川崎市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について（原案可決）

議案第110号 市道路線の認定及び廃止について（原案可決）

令和5年6月23日

川崎市議会議長

青木功雄様

環境委員長

浦田大輔

環境委員会審査報告書（議案）

本委員会に付託された下記の議案を審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第77条の規定により報告します。

記

議案第107号 東扇島コンテナ関連施設整備工事請負契約の変更について
(原案可決)

議案第114号 令和5年度川崎市港湾整備事業特別会計補正予算
(原案可決)

令和5年6月23日

川崎市議会議長
青木功雄様

健康福祉委員長
各務雅彦

健康福祉委員会審査報告書（諮問）

本委員会に付託された下記の諮問を審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第77条の規定により報告します。

記

諮問第1号 生活保護費返還金の督促に関する処分に係る審査請求について
(棄却すべきものと回答)

令和5年6月26日

川崎市議会議長

青木功雄様

文教委員長

押本吉司

文教委員会審査報告書（請願）

本委員会に付託された下記の請願を審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第77条及び第94条の規定により報告します。

記

請願第1号 成人ぜん息患者医療費助成条例、小児ぜん息患者医療費支給条例の廃止に反対し、維持・拡充を求める事に関する請願（第2項及び第4項）
（不採択）

令和5年6月23日

川崎市議会議長

青木功雄様

健康福祉委員長

各務雅彦

健康福祉委員会審査報告書（請願）

本委員会に付託された下記の請願を審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第77条及び第94条の規定により報告します。

記

請願第1号 成人ぜん息患者医療費助成条例、小児ぜん息患者医療費支給条例の廃止に反対し、維持・拡充を求める事に関する請願（第1項及び第3項）
（不採択）

代表討論通告書

令和5年6月27日

川崎市議会議長 様

会派名 みらい

討論者氏名 織田 勝久

時 間 約20分

次のとおり代表討論を行いますので、会議規則第49条の規定により通告します。

議 案 (請願を含む)	
反 対 討 論	
賛 成 討 論	議案第 88号 川崎市成人ぜん息患者医療費助成条例を廃止する条例の 制定について
	議案第 94号 川崎市小児ぜん息患者医療費支給条例を廃止する条例の 制定について
	議案第112号 令和5年度川崎市一般会計補正予算
報 告	



代表討論通告書

令和5年6月27日

川崎市議会議長 様

会 派 名 日本共産党

討論者氏名 小堀 祥子

時 間 約25分

次のとおり代表討論を行いますので、会議規則第49条の規定により通告します。

議 案 (請願を含む)	
反 対 討 論	議案第84号 川崎市市税条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第85号 川崎市市税事務所条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第87号 川崎市地方卸売市場業務条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第88号 川崎市成人ぜん息患者医療費助成条例を廃止する条例の制定について
	議案第94号 川崎市小児ぜん息患者医療費支給条例を廃止する条例の制定について
賛 成 討 論	議案第107号 東扇島コンテナ関連施設整備工事請負契約の変更に ついて
	議案第112号 令和5年度川崎市一般会計補正予算
	請願第1号 成人ぜん息患者医療費助成条例、小児ぜん息患者医療費支給 条例の廃止に反対し、維持・拡充を求める事に関する請願
報 告	
報告第13号 地方自治法第180条の規定による市長の専決処分の報告について	



令和5年第3回川崎市議会定例会
議事日程第9号

令和5年7月6日(木)
午前10時開議

第 1

一般質問

第 2

請願・陳情

第 3

閉会中の継続審査及び調査について

閉会中の継続審査及び調査申し出一覧表

令和5年7月6日

<p>《 総 務 委 員 会 》</p> <p>陳情第3号、4号、6号、7号、8号、9号</p> <p>総務企画局、財政局、経済労働局、臨海部国際戦略本部、危機管理本部及びその他の行政について</p>
<p>《 文 教 委 員 会 》</p> <p>陳情第1号、5号、10号</p> <p>市民文化局、こども未来局及び教育委員会の行政について</p>
<p>《 健 康 福 祉 委 員 会 》</p> <p>健康福祉局、病院局及び消防局の行政について</p>
<p>《 ま ち づ く り 委 員 会 》</p> <p>まちづくり局及び建設緑政局の行政について</p>
<p>《 環 境 委 員 会 》</p> <p>環境局、港湾局、上下水道局及び交通局の行政について</p>
<p>《 議 会 運 営 委 員 会 》</p> <p>議会の運営に関する事項</p> <p>議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項</p> <p>議長の諮問に関する事項</p>

令和5年第3回定例会一般質問者一覧(案)

発言通告締切日 令和5年6月26日(月) 午後1時

会派 月日	自 民 党	み ら い	公 明 党	共 産 党	維 新 の 会	無 所 属
6/30 (金) (15人)	* 加藤孝明	* 嶋 凌 汰	* 枝川 舞	* 市古次郎	* 那須野純花	
	* 各務雅彦	* 長谷川智一	* 浦田大輔	* 小堀祥子	* 高戸友子	
	* 橋本 勝	* 井土清貴	* 平山浩二			
		* 嶋田和明				* 重富達也
7/4 (火) (14人)	* 山田瑛理	* 押本吉司	* 工藤礼子	* 齋藤 温	* 三浦恵美	
	* 上原正裕	* 田倉俊輔	* 春 孝明		* 岩田英高	
	* 山崎直史	* 高橋美里	* 柳沢 優			
	* 末永 直					* 月本琢也
7/5 (水) (14人)	* 野田雅之	* 林 敏 夫	* 川島雅裕	* 渡辺 学	* 仁平克枝	
	* 矢沢孝雄	* 鈴木朋子	* 河野ゆかり	* 井口真美	* 飯田 満	
	* 浅野文直	* 堀添 健	* 田村伸一郎			* 吉沢章子
7/6 (木) (12人)	* 原 典之	* 木庭理香子	* 浜田昌利	* 石川建二	* 三宅隆介	
	* 松原成文	* 織田勝久	* かわの忠正	* 宗田裕之		
	* 大島 明	* 雨笠裕治				
	* 嶋崎嘉夫					
55人	14人	13人	11人	7人	7人	3人

* 印は一問一答方式

令和5年第3回定例会一般質問発言要旨(発言順)

令和5年6月30日(金)

*印は一問一答方式

順序	発言者	要 旨	答 弁 者
1	* 加藤 孝明	① 公園施策全般について	建設 幸 関係局
		② 障害者スポーツについて	市民 関係局
		③ 川崎市立看護大学について	健福 関係局
		④ 市立学校における感染症対策及び熱中症対策について	教次長 関係局
		⑤ 公職選挙法について	選管 関係局
		⑥ 道路整備について	建設 関係局
2	* 嶋 凌汰	① 本市の多子世帯支援について	市長 こども 関係局
		② 幸区内を循環するコミュニティバスの導入について	まち 幸 関係局
		③ 教育現場におけるチャットGPTの利用について	教育長 教次長 関係局
		④ 消防団を中核とした地域防災力強化のための消防団員の加入促進について	消防 関係局
3	* 枝川 舞	① 交通安全体策について	建設 幸 関係局
		② 幸区における地域コミュニティバスの導入について	まち 幸 関係局
		③ 歩車分離信号の拡充について	まち 建設 関係局
		④ かわさき防災アプリ「みんパト」について	市民 関係局
		⑤ 学校サポーターの拡充について	教育長 教次長 関係局
4	* 市古 次郎	① 学校検診及び学校医について	教次長 関係局
		② 学校給食における食物アレルギー対応について	教次長 関係局
		③ 平間公園の水はけについて	中原 関係局
		④ 西加瀬プロジェクトに係る条例環境影響評価書について	環境 関係局
		⑤ 御幸踏切について	建設 関係局
5	* 那須野 純花	① 幸高校の探求授業について	幸 教次長 関係局
		② 幸高校におけるアンケートについて	幸 関係局
		③ 全国都市緑化かわさきフェア及び市バスの利用促進について	建設 交通 関係局
		④ 病児・病後児保育の利用及び広域利用について	こども 関係局

* 印は一問一答方式

順序	発言者	要 旨	答 弁 者
6	* 各務 雅彦	① 子ども預かり事業について ・一時保育事業 ・ふれあい子育てサポート事業 ・子育て短期利用事業	副市長 こども
		② わくわくプラザについて ・こども文化センター指定管理者募集 ・わくわくプラザへのお弁当配送	副市長 財 政 市 民 こども
		③ コミュニティ交通の充実に向けた資金的支援について	ま ち
		④ 就労継続支援B型事業所の通所者への電車交通費助成について	健 福
7	* 長谷川 智一	① 富士見公園再編整備事業における相撲場の再整備及び農と自然を体感する広場の整備について	建 設 関係局
		② ヘイトスピーチ対策について	市 民 関係局
		③ ヤングケアラーの実態調査について	こども 関係局
		④ 特別支援学校のスクールバスについて	教育長 健 福 教次長 関係局
		⑤ 日本PTA全国研究大会川崎大会について	教育長 教次長 関係局
8	* 浦田 大輔	① 陣痛タクシー等について ・陣痛タクシーのサービス状況 ・陣痛タクシーの普及促進 ・妊婦の救急車の利用	こども まち 消 防 関係局
		② 1か月児健康診査等について ・幼児の健康診査 ・1か月児健康診査の必要性 ・1か月児健康診査の費用負担軽減	病管者 こども 関係局
		③ AEDについて ・AEDの設置及び配置基準 ・AEDの使用状況 ・AEDの使用率向上に向けた取組	市 民 健 福 関係局
		④ いわゆるゴミ屋敷について ・いわゆるゴミ屋敷事案の把握状況 ・ゴミ屋敷事案の対応 ・ゴミ屋敷事案への効果的なアプローチの仕組みづくり	副市長 環 境 健 福 関係局
		⑤ 障害のある方への投票所の接遇について	選 管 関係局
9	* 小堀 祥子	① 宮内、諏訪、二子、宇奈根排水樋管周辺地域の浸水対策について	水管者 危機監 関係局
		② 平瀬川の多摩川合流部の浸水対策について	建 設 関係局
		③ 高津区久地での土砂災害及び対策について	ま ち 危機監 高 津 関係局
		④ 大山街道踏切について	ま ち 関係局
		⑤ 久地駅橋上駅舎化について	ま ち 関係局
		⑥ 女性管理職比率及び職員の働き方について	総 企 関係局

* 印は一問一答方式

順序	発言者	要 旨	答 弁 者
10	* 高戸 友子	① 学校・保護者間連絡のデジタル化について	教育長 教次長 関係局
		② 川崎市立高校硬式野球部の保護者負担軽減について	教育長 教次長 関係局
		③ 給食時間における「共食」の考え方について	教育長 教次長 関係局
		④ 「新生児訪問」の連絡及び訪問時期について	こども 関係局
11	* 橋本 勝	① 渋滞対策と道路整備について	建設 関係局
		② 救急活動について	消防
		③ 学校施設包括管理業務について	教育長 教次長 関係局
		④ 国民健康保険事業について	健 福 関係局
12	* 井土 清貴	① デジタルサイネージの有効活用について	ま ち 関係局
		② 川崎市備蓄計画について	危機監 関係局
		③ 産後ケア事業について	こども 関係局
		④ 省エネ家電への買い替え促進について	経 労 環 境 関係局
		⑤ スポーツのまち・かわさきについて	市 民 関係局
		⑥ 映像のまち・かわさきの広報について	市 民 関係局
13	* 平山 浩二	① 土砂崩れ等の災害対策の推進について	ま ち 建設 高 津 関係局
		② 川崎市市営住宅等施策について	ま ち 建設 関係局
		③ 久末・蟹ヶ谷地域の斜面流出水について	環 境 建設 高 津 関係局
		④ コミュニティ交通の充実に向けた取組について	ま ち 関係局
14	* 嶋田 和明	① 川崎市子どもの権利に関する条例の周知と啓発の取組について	教育長 こども 教次長 関係局
		② G I G Aスクール構想の取組について	教育長 教次長 関係局
		③ 教職員の働き方改革について	教育長 教次長 関係局
		④ 特別全国障害者スポーツ大会の派遣について	市 民 関係局
		⑤ 大規模災害時の防災対策と避難支援について	健 福 危機監 関係局
15	* 重富 達也	① 補助・助成金見直し方針について	財 政 市 民 経 労 こども 関係局
		② 出資法人への出資金について	総 企 財 政 市 民 ま ち 教次長 関係局
		③ 工業用水道事業の将来のあり方について	水管者 関係局

令和5年第3回定例会一般質問発言要旨(発言順)

令和5年7月4日(火)

*印は一問一答方式

順序	発言者	要 旨	答 弁 者
1	* 山田 瑛理	① 特色ある公立学校について ・本市の特色ある公立学校 ・学校選択制 ・学校評価の在り方	教育長 教次長 関係局
		② 公立学校の熱中症と紫外線対策について	教育長 教次長 関係局
		③ ふるさと納税について	市 長 財 政 関係局
		④ わんわんパトロールについて	川 崎 関係局
2	* 押本 吉司	① 学校現場での諸課題について ・チャットGPTの活用 ・ラーケーション及び皆勤賞 ・校庭の点検	教育長 こども 教次長 関係局
		② 荻宿小田中線立体交差化工事について	建 設 関係局
		③ 選挙公報の配布漏れ及び投票所の課題について	中 原 選 管 関係局
		④ 災害時支援物資受援体制のあり方及び物資受援マニュアル等について	危機監 関係局
		⑤ 武蔵小杉周辺エリア防災計画の見直しについて	中 原 関係局
3	* 工藤 礼子	① キャリアサポートかわさきについて	経 労 関係局
		② 教育現場における女子生徒の健康に関する理解増進について	教育長 教次長 関係局
		③ 防犯カメラの設置について	市 民 関係局
		④ 防災対策における土嚢ボックス設置について	建 設 宮 前 関係局
		⑤ 地域交通について	ま ち 宮 前 関係局
4	* 齋藤 温	① 保育士の配置基準及び処遇改善について	こども 関係局
		② 投票所への移動支援について	選 管 関係局
		③ 鶴川駅南口アクセス道路の整備に伴う川崎市の対応について	建 設 関係局
		④ 指定喫煙所について	市 民 関係局
5	* 三浦 恵美	① ふるさと納税に関する本市の市税の流失額及び返礼品について	財 政 関係局
		② JR横須賀線武蔵小杉駅のプラットホームについて	ま ち 関係局
		③ 過去10年間の川崎市税の動きについて	財 政 関係局

* 印は一問一答方式

順序	発言者	要 旨	答 弁 者
6	* 上原 正裕	① 登戸土地区画整理事業について	副市長 市民 まち多摩 関係局
		② 橋について	建設 危機監 多摩 消防 関係局
		③ 三沢川地区浸水対策について	水管者 建設 多摩 関係局
7	* 田倉 俊輔	① 川崎市の子育て政策における一時保育の現状、課題及び今後の取組について	市長 こども 関係局
		② 川崎市の安心安全のまちづくり、防犯カメラ、防犯パトロール等の取組について	市民 関係局
		③ 登戸土地区画整理事業に起因する児童数増加、住環境・交通環境などの諸問題について	まち 関係局
		④ 生田緑地ビジョンの改定について	建設 関係局
		⑤ 全国都市緑化かわさきフェア開催の進捗及び課題について	建設 関係局
		⑥ 川崎市多摩休日夜間急患診療所及び川崎市北部小児急病センターの諸課題について	健 福 多 摩 関係局
8	* 春 孝明	① 資産マネジメントについて	市民 まち 関係局
		② (仮称)川崎市高津区下作延計画について	副市長 まち 建設 関係局
		③ 平瀬川・多摩川合流部整備事業について	建設 関係局
		④ 小学校及びわくわくプラザの危機管理体制について	教育長 こども 教次長 関係局
		⑤ 認知症対策について	健 福 関係局
9	* 岩田 英高	① 軽自動車税環境性能割の賦課徴収について	財 政 関係局
		② 自転車用ヘルメットの着用促進について	教育長 市民 教次長 関係局
		③ 市立高校の硬式野球部の球場について	建設 関係局
10	* 山崎 直史	① 救命テント付AEDの普及について	消 防 関係局
		② 障害介護給付費等の請求について	健 福 関係局
		③ 職長制度について	総 企 関係局
		④ 定年延長について	総 企 関係局
		⑤ 公道移管について	建設 関係局

* 印は一問一答方式

順序	発言者	要 旨	答 弁 者
11	* 高橋 美里	① 災害時の人材確保について	市民 健福 危機監 中原 関係局
		② こどもの居場所について	教育長 こども 中原 教次長 関係局
		③ 国際交流センターの休館中の対応について	市民 関係局
		④ 川崎市公式ホームページのリニューアルについて	市長 総企 関係局
		⑤ 令和4年度までの学習状況調査のデータ活用について	教育長 教次長 関係局
12	* 柳沢 優	① 新百合ヶ丘総合病院救命救急センター設置について	市長 健福 消防 関係局
		② 防災キャンプについて	建設 関係局
		③ 公園の防災施設設置（かまどベンチ）について	建設 麻生 関係局
		④ 廃棄物発電の蓄電機能設置について	環境 関係局
		⑤ 鶴川駅南口の再開発計画について	建設 関係局
		⑥ 麻生区岡上西地区のコミュニティバス導入について	まち 関係局
13	* 末永 直	① 修学旅行等における看護師等の配置について	教育長 教次長 関係局
		② 市立学校における暴力行為及びその対策について	教育長 教次長 関係局
		③ 通学路の安全対策について	教育長 建設 教次長 関係局
		④ 川崎市石川記念武道館の空調設備の設置について	市長 市民 関係局
		⑤ 公園等における若者文化施策等と連携した施設整備の考え方等について	市長 建設 関係局
		⑥ 大規模水害対策について	市長 水管者 建設 関係局
14	* 月本 琢也	① 災害時の応急救護について	健福 危機監 教次長
		② 男女共同参画の視点での防災対策について	市民 危機監
		③ 道路交通の維持管理の二重行政について	市長 総企 市民 建設

令和5年第3回定例会一般質問発言要旨(発言順)

令和5年7月5日(水)

*印は一問一答方式

順序	発言者	要 旨	答 弁 者
1	* 野田 雅之	① 新しい幸市民館・図書館を創る再編整備について	幸 教次長 関係局
		② J R南武線連続立体交差事業について	副市長 建 設 関係局
		③ 市立小学校等での導入に向けたフッ化物洗口の取組状況について	教育長 健 福 教次長 関係局
		④ 荒天時・災害時の災害出動について	建 設 危機監 幸 関係局
2	* 林 敏夫	① 富士見公園再編整備事業について	建 設 危機監 関係局
		② 工業用水道事業の取組について	水管者 関係局
		③ 京急川崎駅周辺地区のまちづくりの取組について	ま ち 建 設 関係局
		④ 大師橋駅の改修及び駅周辺の環境整備について	建 設 臨 海 関係局
		⑤ 自転車の交通事故防止に向けた取組について	市 民 建 設 関係局
		⑥ 新本庁舎の内覧会及びカフェスペース等について	総 企 関係局
		⑦ 扇町跨線橋の改修に向けた取組について	建 設 関係局
3	* 川島 雅裕	① 矢上川地下調節池事業について	建 設 関係局
		② 防災備蓄の管理について	危機監 関係局
		③ 障がい児・者のショートステイについて	健 福 関係局
		④ 朝の子どもの居場所づくりについて	教次長 関係局
		⑤ 学校図書館の蔵書について	教育長 教次長 関係局
4	* 渡辺 学	① 高齢者外出支援乗車事業について	健 福 関係局
		② 地域包括支援センターの人材確保について	健 福 関係局
		③ 保育所における付加的な保育(有料プログラム)提供に係る費用徴収について	こども 関係局
		④ 障がい者及び高齢者災害時の個別避難計画について	健 福 関係局
		⑤ 自転車及び歩行者の安全対策について ・小倉跨線橋の自転車安全対策 ・シンカモール(北加瀬)の駐輪場設置	建 設 関係局
5	* 仁平 克枝	① 働き盛り世代の健康について	健 福 関係局
		② 短時間雇用創出プロジェクトについて	教育長 経 労 健 福 教次長 関係局
6	* 矢沢 孝雄	① 横浜市営地下鉄3号線延伸事業の今後の方向性について	市 長 ま ち 関係局
		② 都市計画道路横浜生田線(水沢工区)開通に向けた取組について	市 長 建 設 関係局
		③ 幼児教育振興に向けた取組について	市 長 こども 関係局

* 印は一問一答方式

順序	発言者	要 旨	答 弁 者
7	* 鈴木 朋子	① 新百合ヶ丘周辺地区まちづくりの基本的な考え方について	まち 麻生 関係局
		② 地域交流スペースについて	健 福 関係局
		③ 麻生区の産後ケア施設について	健 福 こども 麻 生 関係局
		④ かわさき市民アンケートの目的と効果について	総 企 関係局
		⑤ がん検診と周知の方法について	健 福 関係局
		⑥ 公園の改修等について	建 設 麻 生 関係局
		⑦ 全国都市緑化かわさきフェアの集客について	総 企 建 設 関係局
8	* 河野 ゆかり	① 子育て支援について ・ 特定妊婦等への支援 ・ 一時預かり保育 ・ 「こども誰でも通園制度」	副市長 こども 関係局
		② 市獣医師会と「ANIMAMALL (アニマモール) かわさき」との連携した取組について	健 福 関係局
		③ JR 稲田堤駅の橋上駅舎化事業について	まち 関係局
		④ 登戸土地区画整理事業について ・ 登戸駅前広場整備及び向ヶ丘遊園駅北口駅前広場整備等	市 民 まち 関係局
9	* 井口 真美	① 生田ふれあい広場について ・ 噴水エリア ・ 道路の案内表示	水管者
		② 高齢者向け優良賃貸住宅について	まち
		③ 大雨時の浸水対策について ・ 三沢川地区の浸水対策 ・ 河川の日常的な管理	水管者 建 設 多 摩
		④ 登戸土地区画整理事業について ・ 市街地再開発事業 ・ 道路の安全対策	まち
		⑤ 生田地区の社会教育施設について ・ 市民館の機能 ・ 図書館分館の整備	教次長
10	* 飯田 満	① PCB (ポリ塩化ビフェニル) 廃棄物の適正処理等について	副市長 環 境 危機監 教次長
		② 市立学校への「ラーケーションの日」(校外学習の日) 導入等について	教育長 市 民 経 労 関係局
		③ 会計年度任用職員制度の導入に伴う利点及び課題について	水管者 総 企 交 通 病 院 消 防 教次長
		④ 市域を流れる河川の護岸に沿って設置されている道路について	建 設 関係局

* 印は一問一答方式

順序	発言者	要 旨	答 弁 者
11	* 浅野 文直	① 児童虐待防止センター夜間等相談委託事業及び緊急一時保護シェルター事業について(DV相談支援センター電話相談比較含む)	健 福 こども 関係局
		② 出産育児一時金の外国人の利用について	健 福 関係局
		③ 市立病院の医療廃棄物処理について	病 院 関係局
		④ 動物愛護管理法改正後の対応について	環 境 関係局
		⑤ 川崎市使用教科用図書採択について	教育長 教次長 関係局
12	* 堀添 健	① 電動キックボードの利用環境について	市 民 ま ち 建 設 関係局
		② やさしい日本語ガイドラインの運用状況について	教育長 総 企 市 民 関係局
		③ ブロック塀等の改善について	危機監 関係局
		④ バイク駐車場の整備について	総 企 ま ち 建 設 関係局
		⑤ 市民の健康格差について	総 企 健 福 川 崎 麻 生 関係局
13	* 田村伸一郎	① 民間事業者活用型保育所整備事業等について	こども 関係局
		② 現宮前区役所等施設・用地の活用について	総 企 宮 前 関係局
		③ インクルージョンの取組について	健 福 こども 教次長 関係局
		④ 応急仮設住宅「ムービングハウス」の活用について	総 企 危機監 関係局
14	* 吉沢 章子	① ペロブスカイト太陽電池の活用について	市 長 環 境 関係局
		② 災害対策について ・災害拠点病院の水害対策 ・地震対策 ・人材育成	危機監 病 院 関係局
		③ 生田緑地におけるJークレジット等の活用及び土砂災害対策について	副市長 建 設 関係局
		④ Ankerフロンタウン生田の市民利用及び民間活用の在り方について	副市長 水管者 総 企 関係局
		⑤ 上下水道局の不正行為について	水管者 総 企 関係局
		⑥ 街路灯・防犯灯について	市 民 経 労 多 摩 関係局

令和5年第3回定例会一般質問発言要旨(発言順)

令和5年7月6日(木)

*印は一問一答方式

順序	発 言 者	要 旨	答 弁 者
1	* 原 典 之	① 公務員と消防団について	総 企 交 通 消 防 関係局
		② 市制100周年記念事業と全国都市緑化かわさきフェアに係る中原区内の取組等について	市 長 副市長 教 育 長 総 企 市 民 経 労 ま ち 建 設 中 原 教次長 関係局
2	* 木 庭 理 香 子	① 川崎市農業振興計画の進捗状況及び活性化について	副市長 経 労 麻 生
		② 学校の制服について	教 育 長 教次長
		③ 王禅寺ふるさと公園について	副市長 建 設
		④ わんわんパトロールの進捗状況について	麻 生
		⑤ 越境入学の手続について	教次長
3	* 浜 田 昌 利	① 障がい児のショートステイ先について ・施設が少ないことと、地域に偏りがあることの改善 ・医療的ケアを必要としない重症心身障がい児のショートステイ	健 福 関係局
		② ふるさと納税について ・旅行クーポン・宿泊クーポン ・大学との連携(大学OBヘアピール)	財 政 関係局
		③ 通学用リュックについて ・ランドセル価格の高騰(平均5.6万円、人気価格6.5万円以上) ・軽いナイロン製のリュック ・水に浮いて救命具にもなる「ウ克蘭」	教 育 長 教次長 関 係 局
		④ 婚活支援について ・市の後援 ・市民アカデミーなど文化講座・ワークショップの活用	こ ども 関係局
		⑤ 介護保険料について ・65歳以上の負担段階の見直し	健 福 関係局
4	* 石 川 建 二	① リニア中央新幹線のトンネル工事について	市 長 水管者 ま ち 関係局
		② 鷺沼駅前地区再開発事業について	教 育 長 ま ち 関 係 局
		③ コミュニティ交通の支援について	ま ち 関係局
		④ 菅生保育園の移転について	こ ども 関係局

* 印は一問一答方式

順序	発言者	要 旨	答 弁 者
5	* 三宅 隆介	① J F E スチール株式会社東日本製鉄所京浜地区の高炉等休止に伴う土地利用について	経 労 ま ち 港 湾 臨 海 関係局
		② 登戸駅前広場の拡充について	ま ち 建 設
		③ 救急医療体制について	健 福 病 院 消 防
		④ 職員採用の国籍条項について	総 企 人 事
		⑤ 職員の不正コロナ休暇取得について	教育長 総 企 人 事
6	* 松原 成文	① インクルーシブ遊具の整備及び利用者の反応について	水管者 建 設 関係局
		② 等々力緑地釣池について	環 境 建 設 関係局
		③ 多摩川緊急治水対策プロジェクトについて	建 設 関係局
		④ 武道教育、空手について	教次長 関係局
		⑤ 市立高等学校硬式野球部等の部活動の環境について	建 設 教次長 関係局
7	* 織田 勝久	① 第4次緊急渋滞対策について	建 設 関係局
		② 業務委託の課題について	副市長 財 政 環 境 健 福 会 計 関係局
		③ 川崎市中央卸売市場北部市場について	副市長 経 労 関係局
		④ 物流2024年問題について	総 企 経 労 ま ち 関係局
		⑤ 市バス事業について	ま ち 建 設 交 通 関係局
8	* かわの 忠正	① ふれあい収集のあり方について ・高齢社会への対応	市 長 副市長 環 境 ま ち 関係局
		② 障がい者支援策について ・障がい者就労支援 ・日中一時支援事業における今後の整備拡大	市 長 経 労 健 福 関係局
		③ 歩道の樹木管理について	市 長 建 設 関係局
		④ 防犯情報提供のあり方について	市 長 市 民 危 機 監 幸 関係局
		⑤ 旧河原町小学校跡地への特別支援学校設置に伴う グラウンド等代替地確保策について	市 長 こども 教次長 関係局
9	* 宗田 裕之	① 空き家対策について ・住宅セーフティネット	ま ち 関係局
		② 平瀬川の護岸工事について ・工事の進捗と越水対策	建 設 関係局
		③ マイナンバーカードについて	総 企 関係局
		④ みんなの校庭プロジェクトについて ・放課後の校庭開放	こども 教次長 関係局

* 印は一問一答方式

順序	発言者	要 旨	答 弁 者
10	* 大島 明	① 分煙対策について	財 政 市 民 健 福 関係局
		② 臨海部の今後の利活用について	市 長 港 湾 臨 海 関係局
11	* 雨笠 裕治	① 横浜市高速鉄道3号線と新百合ヶ丘駅周辺及び中間駅沿線のまちづくりについて	副市長 まち 麻 生 関係局
		② 災害時給水装置等応急措置に係る協定と応急給水拠点について	水管者 関係局
		③ 技術職の人材育成について	副市長 まち 建 設 関係局
		④ こそだて短期支援事業及び特定妊婦等への支援事業の重要性について	市 長 こども 関係局
12	* 嶋崎 嘉夫	① 羽田空港発着飛行機の騒音問題について	市 長 まち 関係局
		② マンションの適正な管理の推進等について	市 長 まち 関係局
		③ 認知症対策について	市 長 健 福 関係局